



田原 英一 先生

(株)麻生 飯塚病院 東洋医学センター

1991年 富山医科薬科大学 医学部 卒業

同附属病院 和漢診療部 入局

1999年 砺波サンシャイン病院 副院長

2002年 近畿大学 東洋医学研究所 講師

2006年 近畿大学 東洋医学研究所 助教授

2007年 (株)麻生 飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科 部長

はじめに

一般に嘔吐、妊娠悪阻に用いられる小半夏加茯苓湯が後鼻漏に有効であった、演者自身が驚いた症例を紹介する。

症 例

症 例：11歳、男児。

主 訴：後鼻漏、鼻閉。

現病歴：約3年前から、冬期になると鼻が詰まりやすく、不快な匂いがするようになった。近医耳鼻咽喉科で副鼻腔炎と診断され、クラリスロマイシンの少量投与を受けたが、下痢・腹痛・食欲不振などをきたしたため、漢方治療を希望して当科を受診した。

和漢診療学的所見：水様の後鼻漏、下痢傾向、風邪をひくと鼻汁・鼻閉等が増悪、両頬部に熱感はないが圧痛がある。脈候はやや沈、やや弱、やや小であり、舌候は正常紅でやや湿潤したやや厚めの白苔があり、腹候は腹力中等度より軟で心下痞、両側腹直筋軽度緊張、振水音を認めた。

臨床経過：心下痞と下痢傾向から、半夏瀉心湯(煎薬)を投与した。半夏瀉心湯の服用によって鼻症状は軽度の改善を認めたが、上腹部痛や食欲不振が増強したため数日で服用を自己中止した。この時点で対処に苦慮したわけだが、鼻症状と胃腸症状を有する症例に小半夏加茯苓湯が有効で

あると記載されている書籍の記述を思い出し、小半夏加茯苓湯(煎薬)を投与した。その結果、後鼻漏はほとんど自覚しなくなり、その2週間後には鼻閉もわずかで気にならなくなった(図1)。

後鼻漏に対する小半夏加茯苓湯の臨床効果

本症例の経験をきっかけに、2008年から2010年に後鼻漏に対して小半夏加茯苓湯を投与した15例(男性5例、女性10例、平均年齢33.6歳、エキス剤6例、煎薬9例)の臨床効果を検討したところ、有効10例、無効5例であった。

さらに、後鼻漏の性状は「水様」の症例の方が「粘稠」の症例に比して、また「振水音あり」の症例の方が「振水音なし」

図1 臨床経過 11歳男児 後鼻漏

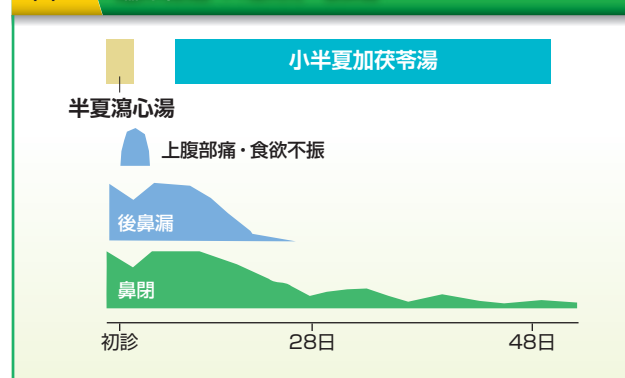
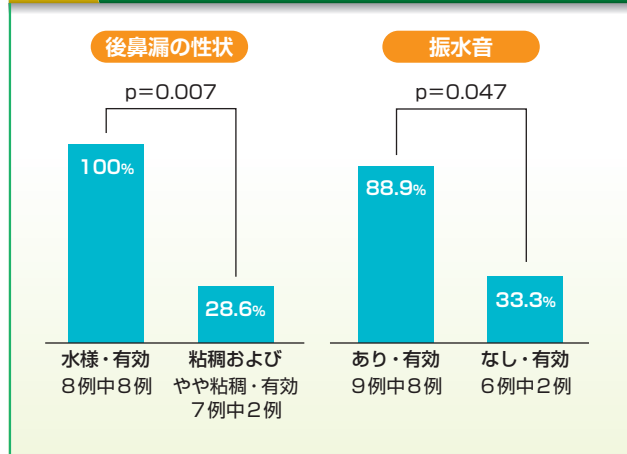


図2 後鼻漏に対する小半夏加茯苓湯の臨床経過



の症例に比して有意に有効であることから、「水様の後鼻漏」、「胃の振水音あり」が小半夏加茯苓湯の目標になると考えられた(図2)。

まとめ

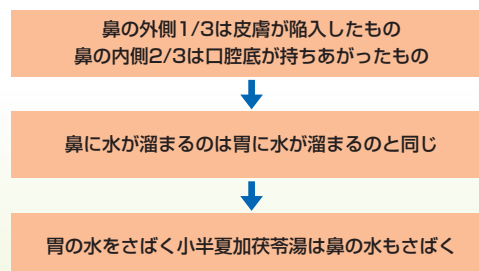
『漢方診療医典』(副鼻腔炎の苓桂朮甘湯の項)には「胃内停水のあるもので、茯苓飲や小半夏加茯苓湯でよくなったものもある」との記載や、「症候による漢方治療の実際」(半夏白朮天麻湯の項)では「前額洞炎に小半夏加茯苓湯を用いて、著効を得たことがある」との記載がある。さらに『金匱要略講話』(大塚敬節主講)では小半夏加茯苓湯を蓄膿症に用いたことが記載されている(図3)。演者は本症例の治療に窮している折に、本書の記述を思い出した次第である。

鼻は発生学的に、外胚葉である皮膚が落ち込んでできた

図3 『金匱要略講話』(大塚敬節主講)

(前略)金沢大学の泌尿器科の先生でしたが、大分前に、**小半夏加茯苓湯を蓄膿症**に使ったのですよ、治ったんです。こういう使い方は、今はもうちょっとしませんからね。しかし考えますと、蓄膿症は水だから、小半夏加茯苓を使うと水が出て治ると考えられるのですが、蓄膿症は葛根湯だという考えにとらわれてしまいますと、もう使えなくなるのですね。(後略)

図4 鼻も胃も消化管－鼻は消化管の脇道－



くぼみと、内胚葉である(口腔底が隆起した)消化管が1:2程度の割合で合わさったものと理解されている。すなわち、鼻腔の2/3の起源は消化管であり、消化管の水毒をさばく小半夏加茯苓湯が鼻症状に効果的であることは理解に難くない(図4)。

水様の後鼻漏で、振水音を聴取するケースでは小半夏加茯苓湯が有効と考えられる。

Comment

寺澤: 山田光胤先生は『漢方処方応用の実際』の中で、半夏瀉心湯の項目の中に「半夏瀉心湯は蓄膿症に効く」ということを明確に書かれています。最初に半夏瀉心湯を処方して、多少の効果があつたことも頷けるような気がします。『金匱要略講話』の小半夏加茯苓湯に関する記載については、大塚敬節先生が発掘し、明確に記述してくださったものだと思います。

小半夏加茯苓湯エキスの効能・効果に、「蓄膿症」が記載されたものがあります。医療用漢方製剤が医療保険の薬価に収められた際の病名の整理には、大塚先生も加わっておられ、先生の意見が取り入れられたという歴史的な経過がありますが、その際の記載を実証した症例だと思います。大変参考になりました。